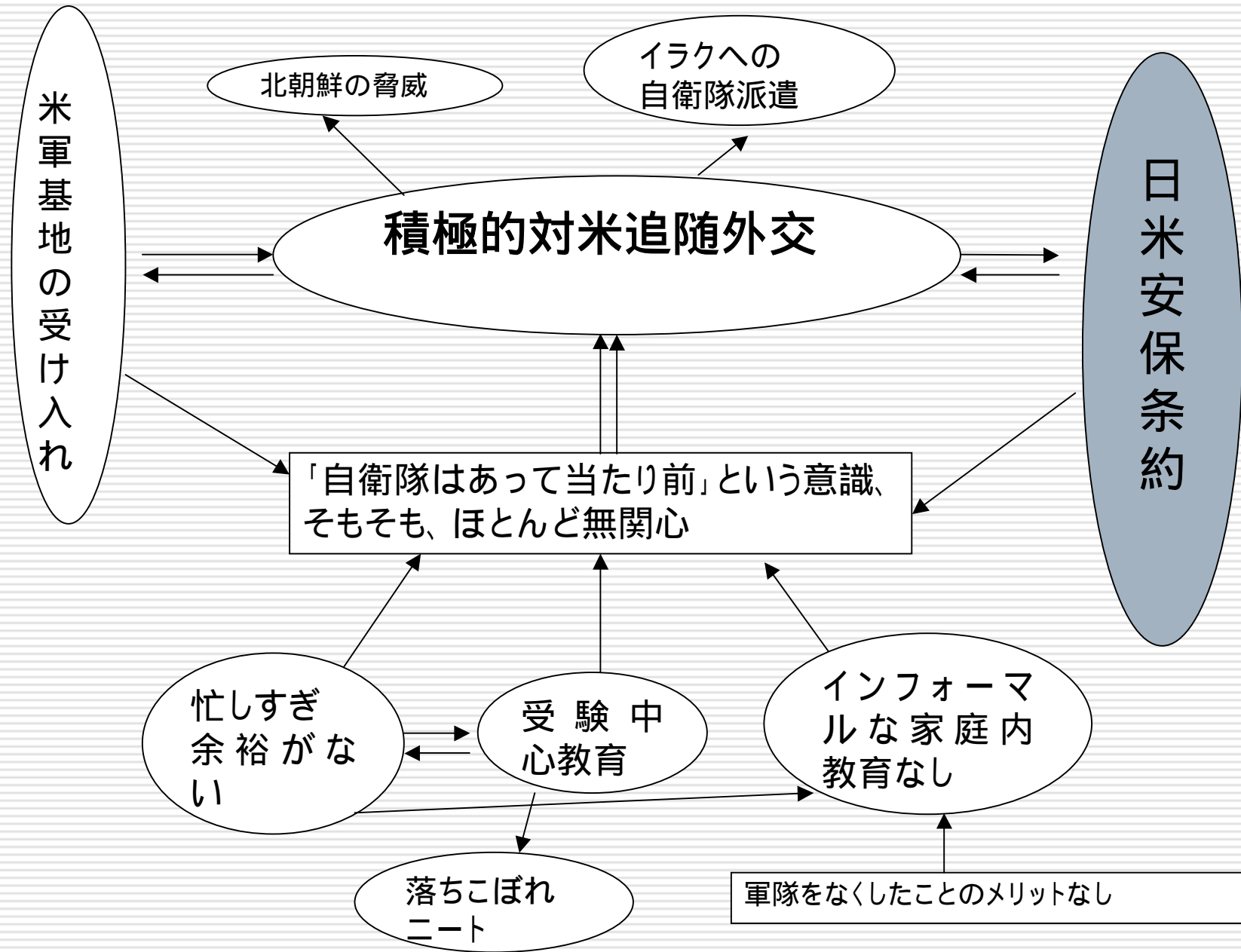


# なぜいま平和省なのか？

## ～ 平和を実現するもうひとつの方法～

---

2006年4月29日  
千葉大学大学院公共研究センター  
上村 雄彦



米軍基地の受け入れ

北朝鮮の脅威

イラクへの  
自衛隊派遣

積極的対米追随外交

日米安保条約

「自衛隊はあって当たり前」という意識、  
そもそも、ほとんど無関心

忙しすぎ  
余裕がない

受験中  
心教育

インフォーマ  
ルな家庭内  
教育なし

落ちこぼれ  
ニート

軍隊をなくしたことのメリットなし

## 日本の安全保障にとって大切なこと

---

- 「将来的に自衛隊をなくしても大丈夫、なくした方が得だ」という確信とその具体的な裏付け
- 他国から攻められない工夫
- 平和なやり方で、世界平和に貢献できる自信と誇りと喜び

これをどう実現するか？

---

# 日本がめざすべき進路

---

- 憲法を活かす「活憲」
  - 「積極的非軍事国際貢献外交」の推進
  - 「ピース・マニフェスト(平和大綱)」の作成
    - ・ 平和省・国際平和協力庁
    - ・ 東アジア平和共同体
    - ・ 日本の自立
-

# 「平和省・国際平和協力庁」の創設

---

- 「目に見える」国際貢献
- 海外から人材を集め、国際紛争仲裁、緊急援助、植林、平和憲法、地雷撤去、選挙監視、軍縮、貧困撲滅、平和教育の専門家を養成
- 自衛隊を国家警備隊、緊急災害援助隊、植林部隊、国際地雷撤去隊、国際選挙監視隊、国際医師派遣隊に改組
- NGO・NPOとの連携、パートナーシップ
- 「国際防災復興協力センター」  
夢と希望を与え、無関心を打破する契機に

(上村雄彦「もうひとつの平和は可能か？」『公共研究』第1巻第2号、2005年3月、147～213頁)

---